

航空機搭載レーザプロファイラがとらえた

国会議事堂周辺・陰影図（1）

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

データ収集：朝日航洋（株）

前号から航空機搭載レーザプロファイラ（スキャン型レーザ測距装置）から観測されたデータ（LP データ：Laser Profiler Data）映像を紹介しています。今回は陰影図を作成してみました。LP データが観測された5月の太陽の動きに対応した陰影シミュレーション（朝6：00～夕方6：00）の結果です。太陽光の入射角度が大きくなる程、白色系になるように表示しています。陰になる部分は黒色系です。国会議事堂の中央塔を見ると陰影の移り変わりがよく判ります。日射量等の物理量を直接把握することはできませんが、地表面の陰影（画像上の濃度値）の相対的な

